

第六回 講演会

日中関係をめぐる健全な歴史認識とは？

2018年4月14日(土) 14:00~16:30

会場: ウィンクあいち(愛知県産業労働センター)

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38 (名古屋駅前)

TEL: 052-571-6131

自虐史観のルーツ

『昭和12年の日中関係史』を検証する

講師: 藤岡信勝氏



「新しい歴史教科書をつくる会」の創立者の一人として、早くから、自虐史観の問題に真っ向から取り組んできた。現在は同会副会長。拓殖大学客員教授。

歴史を研究する際は、特定のイデオロギーにとらわれることなく、一方を悪玉、他方を善玉と決めつけてレッテル貼りをするところから自由であるべきだと主張する。

健全な歴史観を求め続け、そのわかりやすい解説は、大ベストセラーとなった『教科書が教えない歴史』(全四巻・扶桑社)を生んだ。その他『自虐史観の病理』(文藝春秋)、『教科書採択の真相』(PHP新書)、『国難の日本史』(ビジネス社)等多数。2005年にフジサンケイグループ正論大賞受賞。

主催

日本を愛するキリスト者の会



会長: 三谷康人
カネボウ薬品元会長
新島学園客員教授



副会長: 手束正昭
高砂教会牧師
日本民族総福音化運動協議会・総裁



事務局長: 久保有政
レムナント出版代表



顧問: 青木仁志
アチーブメント(株)代表取締役社長

ご挨拶

会長:三谷康人 (カネボウ薬品元会長・新島学園客員教授)



戦後の「東京裁判」や戦後教育の中で、「日本は悪い国だった」という歴史観が広められ、日本人のセルフイメージは低く抑えつけられてきました。それは健全なことだったでしょうか？

いわゆる「自虐史観」と呼ばれるこの歴史認識による教会の福音伝道の仕方、偏ってしまっていたように思います。今回はこの偏った歴史観のルーツについて詳しい先生をお招きしました。そのお話を通し、日本の近代の歩みが本当はどのようなものであったか、またそれに基づいて福音をどのように日本人に伝えるのがよいのか、一緒に考えてみたいと思っています。

会場案内

ウインクあいち (愛知県産業労働センター)

愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38

TEL: 052-571-6131

名古屋駅桜通口からミッドランドスクエア方面へ徒歩5分

名古屋高速都心環状線「錦橋」出口より6分



申込み・お問い合わせ

事務局 高砂教会 (小森・谷元)

〒676-0015

兵庫県高砂市荒井町紙町1-34

TEL 079-442-4854

FAX 079-442-4878

Email: info@nihon-ai.com

HP: <http://nihon-ai.com>



銀行振込 ゆうちょ銀行

記号14360番号58454181

他銀行から

支店四三八 番号5845418

郵便振込 00980-6-208225

名義「日本を愛するキリスト者の会」

会員募集のお知らせ

ともに祈り、日本のリバイバルのために同労して下さる方を募集しています。

年会費: 3000円

会員の方には集会案内、会報誌などで活動内容をお知らせし、情報発信を致します。

入会申し込みはホームページからも可能です。必要であれば事務局までご一報ください。

会費の納入は左記に記載の銀行振り込み・郵便振り込みのご利用が可能です。